

令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日より

令和 3 年 3 月 31 日まで

I 事業概況

令和 2 年度は世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、生活様式、働き方や仕事のあり方が激変した 1 年でした。企業も様々な制約を受け、後半には緩やかに持ち直したものの、景気の回復には至りませんでした。

緊急事態宣言が発令され、小売各店の営業が自粛、時間を短縮しての営業やリモートワークなどビジネス環境が激変し、予定していた事業もほとんどが中止・延期に追い込まれ、靴業界も非常に厳しい 1 年となりました。

ワクチンが普及し、集団免疫効果が出てくるのはまだ少し先になると思われまます。それまでは先行きが不透明な状況が続くと覚悟を決めて、感染防止対策、自衛他衛の実践を継続することが大切だと考えます。

このような厳しい経済環境のなかでも、本協会では業界の発展を掛け、各企業が強固な組織をもって数々の事業に取り組んでまいりました。

「台東ファッションザッカフェア」「ジャパングリエーション」に参加し、百貨店やネットでの販売、展示会への出展等、新規開拓・販路拡大に繋がりました。

「日本靴ハンドバッグ協会」では、技術認定事業で「第 10 回技術認定試験（皮革部門）」を、東京・名古屋・大阪・豊岡の 4 地区で実施しました。EXCELLENT・JAPAN 展開促進事業プロジェクトの ICT 兼マーケティングプラットフォーム委員会では、「QR コードを活用した情報システムの本格運用開始について」の説明会を大阪、豊岡、名古屋で開催。同じく生産プラットフォーム委員会では、革製品技能試験の国家資格取得へ情報収集を行い、令和 3 年度には国への申請書作成を行います。

その他各種研修会・講演会等には、関係団体と連携を図り、積極的な参加への周知に努めました。

家庭用品品質表示法に基づく、品質表示ラベル推進事業は、関係各位のご尽力により円滑に推進することが出来ました。

PL 保険事業など他の事業においても関係団体とタイアップするとともに、東京都、台東区はじめ行政関係へ要望・陳情を行いました。

1. 靴産業の振興事業に関する指導及び協力

1) 日本製かばん「信頼のマーク」表示に関する事業

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(1) 出荷実績

企業数 20社

グレー 375,500枚 ワイン 23,000枚 計 398,500枚

(2) 協力企業名

(順不同)

No.	企業名	No.	企業名	No.	企業名
1	(株) 青木	9	(有) 中澤	17	(株) 山岸
2	(有) 五十嵐製作所	10	(株) ネギシ	18	(株) 吉田
3	(株) 榮伸	11	樋口靴工房(株)	19	(株) 羅屋
4	大峡製靴(株)	12	(有) 藤靴囊所	20	らんどーる(株)
5	(株) 神田屋靴製作所	13	丸学商店		
6	甲陽産業(株)	14	(株) マルヨシ		
7	(株) チヨダ	15	(株) 水野靴店		
8	(株) 藤英	16	山一インターナショナル(株)		

(3) 歴年別信頼マークの出荷数量表

地区別 年度	計	(一社) 東京靴協会	大阪靴協会	(協) 名古屋靴協会	(一社) 豊岡靴協会
平成5年	2,721,000	865,500	1,111,500	123,500	620,500
平成6年	4,207,500	897,500	1,332,000	316,500	1,661,500
平成7年	5,141,000	1,371,500	1,635,000	362,500	1,772,000
平成8年	4,381,500	1,128,500	1,216,000	321,000	1,716,000
平成9年	3,819,000	1,103,000	818,500	309,000	1,588,500
平成10年	4,396,100	1,415,100	1,307,500	219,000	1,454,500
平成11年	4,108,000	1,414,500	1,088,000	216,000	1,389,500
平成12年	3,397,500	1,197,000	951,000	193,000	1,056,500
平成13年	3,023,000	1,047,500	833,000	209,000	933,500
平成14年	2,939,500	887,000	830,500	217,500	1,004,500
平成15年	2,914,000	797,000	836,000	215,000	1,066,000
平成16年	2,737,500	957,000	596,000	185,500	999,000
平成17年	2,639,000	923,500	510,500	127,500	1,077,500
平成18年	2,490,500	929,500	463,000	165,500	932,500
平成19年	2,555,500	962,000	451,500	131,500	1,010,500
平成20年	2,501,000	858,500	493,000	151,500	998,000
平成21年	2,007,500	752,000	435,500	162,000	658,000
平成22年	2,184,800	765,000	479,500	156,500	783,800
平成23年	2,353,000	968,000	533,800	150,500	700,700
平成24年	2,490,200	1,171,000	475,700	160,500	683,000
平成25年	2,556,500	1,110,500	533,500	189,500	723,000
平成26年	2,492,000	1,086,500	445,500	168,500	791,500
平成27年	2,771,500	1,116,000	622,500	222,500	810,500
平成28年	2,563,000	1,017,000	524,000	214,000	808,000
平成29年	2,701,500	1,034,000	671,000	206,500	790,000
平成30年	2,774,500	1,014,500	577,000	251,500	931,500
令和元年	3,871,000	1,224,000	735,000	615,500	1,296,500
令和2年	800,500	398,500	295,500	2,500	104,000
累計	83,537,600	28,411,600	20,801,500	5,963,500	28,361,000

① (一社) 日本鞆協会「信頼マーク」について

○キャッチコピー

知っていて安心! 「信頼」のマーク

マークが保証する信頼と技術と心。

安心の道しるべの目印のマークです。

今や世界の経済動向は、片時も目が離せなくなりました。

我が国のかばん市場は国際化の中、さまざまな形で混乱を招いています。

信頼のマークを表示した、日本のかばんをもっともっと社会にPRを。

そして、新たな活路を開拓してまいります。

信頼のマークは令和2年度より1枚8円となります。

お問い合わせは…

一般社団法人 日本かばん協会

一般社団法人 東京鞆協会

大 阪 鞆 協 会

協 同 組 合 名 古 屋 鞆 協 会

一般社団法人 豊岡鞆協会

2) 販売促進に関する「信頼のマーク」PR事業

(1) 「信頼のマーク」PRキャンペーン事業

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、予定していたPRイベントは中止となった。

(2) ソーシャル・ネットワーク・サービス (SNS) による「日本製かばん」の認知向上施策事業

8月9日のかばんの日を記念して、「日本製かばん」のプレゼントキャンペーンをWEB上で実施。WEBメディア(バナー・ツイッター)広告で告知し、特設WEBサイトから日本製かばんの魅力をアピール。かばん職人がこのキャンペーンのために作った日本製かばん(10本)の中から好きなかばんに投票してもらい抽選でプレゼントするとともに、抽選から外れた応募者にもノベルティ(エコバッグ)をプレゼントし、「日本製かばん」「信頼のマーク」の露出を高めるとともに、認知度向上に繋げた。

プレゼントかばん協力会社名

順不同

(株) 曾	我	部	(株) 高	木	(株) ク	ロ	ス	ラ	イ	ン		
(株) シ	ノ	ダ	ワ	コ	ー	バ	グ	(株)	(株) ヨ	シ	カ	ワ

3) 情報及び調査・研究に関する事業

(1) 情報の提供事業

- PL法/製造物責任法に関する資料の収集及び情報の提供を行った。/団体保険特約
- 中小企業関係資料の収集及び提供を行った。

- 中小企業施策パンフレット等を配布した。
- 中小企業関係法令、制度の解説等関係資料を配布した。
- 中小企業だより
- 会報／JLIA だより

(2) 調査・研究事業

- 情報化に関する調査・研究を行った。
- 特許制度及び実用新案制度の普及についての調査研究を行った。
- 東京都の地域振興対策と関連する研究を行った。
- 関係官庁、関係団体の調査及び照会に対する協力を行った。

4) かばん類の普及宣伝に関する事業

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により様々なイベント等が中止に追い込まれました。

(1) 台東ファッションザッカフェア2020

①第31回ザッカデザイン画コンペティション

各賞	各部門	作品名	応募総数 3,171点
大賞	靴部門	DELTA BOOTS	
最優秀作品賞	靴・バッグ部門	CROISSANT BAG	
	ベルト・サスペンダー部門	コラージュ ベルト	
	帽子部門	jelly fish	
	革小物部門	コトリ /Kotori	
審査員賞	靴・バッグ部門	ベロ型小物ケース	
	帽子部門	jelly fish	
	革小物部門	コトリ /Kotori	
松屋銀座賞	革小物部門	hanafuku	
	革小物部門	レザープランツ	

② 商業施設での催事参加

● 「ファッション雑貨セレクション」小田急百貨店新宿店

日 程： 令和2年10月28日～11月3日

出展ブランド： 3社

靴部門： Flathority (株)猪瀬

● 台東ファッションザッカ×東京TASK×アトレ上野

「いいものみつける。下町のクリスマスマーケット」JR上野駅中央改札外グランドコンコース

日 程： 令和2年12月3日～12月6日

出展ブランド： ファッションザッカ7社+東京 TASK 5社

靴部門： Flathority (株)猪瀬

5) 海外展示会出展参加事業

今年度の海外展示会は世界的な新型コロナウイルス感染拡大により出展を中止した。

2. 家庭用品品質表示法の規定による靴の品質を表示する事業に関する指導及び協力

家庭用品品質表示法に基づく皮革製かばんの品質表示のPRと消費者にレザーマークの信頼性を高めるとともに、靴業界の振興発展に努めた。

令和2年度ラベル出荷状況

()内は牛ラベル以外

年月	東京	大阪	名古屋	豊岡	合計
令和2年4月	0	0	0	20,000	20,000
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	15,000	0	15,000
7月	0	0 (1,500)	0	0	0 (1,500)
8月	0	12,000	0	0	12,000
9月	10,000	30,000	0	0	40,000
10月	0	0	0	0	0
11月	20,000	0	0	0	20,000
12月	0	0	0	0	0
令和3年1月	30,000	30,000	0	0	60,000
2月	0	0	15,000	0	15,000
3月	0	30,000	0	0	30,000
計	60,000 0	102,000 (1,500)	30,000 0	20,000 0	212,000 (1,500)

前年度	120,000 (30,500)	138,000 0	15,000 (500)	20,000 0	293,000 (31,000)
前年比	50.0%	73.9%	200.0%	100.0%	72.4%

3. 靴産業に関する情報の収集及び提供

1) PL法の対応と団体保険制度に関する事業

製造物責任法に基づくPL法対応策とPL保険〈あいおいニッセイ同和損害保険㈱〉団体契約を締結し、靴業界独自のPL保険制度の加入と普及促進に努め、商品の安全性等取扱説明書(注意)に基づいて、会員企業経営の安定のために事業を行った。

(1) PL団体保険加入状況

団体名	加入者数	保険料
(一社) 東京靴協会	34社	1,070,080円
大阪靴協会	30社	1,229,450円
(協組) 名古屋靴協会	14社	327,670円
(一社) 豊岡靴協会	49社	763,260円
合計	127社	3,390,460円

(2) PL事事故事例

事故の種類	件数	損害金額
人身事故関連	1件	10,820円
洋服関連	2件	13,860円
その他	0件	0円
合計	3件	24,680円

- 前年に比べ事故の件数、損害額ともに減少傾向にあります。
- ◎ 靴に取り付けた金具の不具合で指を傷つけた賠償事故が発生。
- ◎ 色落ちによる衣服への損害事故が発生しています。

2) 団体保険、火災・生命共済の他、自動車共済保険等の損害保険の各種制度の普及とその加入促進を行った。

全国的に火災を始め種々の災害事故が増加しており、組合員各位におかれまして、これ等事故の予防と万一への対策には十分ご配慮の事とは存じますが、万全の保障措置をはかられるよう各種保険制度への加入と普及に努めました。

種類	火災共済	自動車共済	自動車事故共済	傷害総合共済
加入者件数	156件	52件	6件	3人

4. 会館の管理及び運営

昭和48年7月に台東区蔵前4丁目に東京鞆会館を竣工、平成4年7月に改修工事を経て現在に至る。

かねてより理事会で議題に取り上げていた鞆会館の老朽化に伴う今後の課題について協議を重ね、令和元年12月に土地所有者である西福寺より借地権の買い戻しに応じる申し出を受け、協議の結果「東京鞆会館の売却」「事務所移転（賃貸物件へ）」について理事会決議として承認された。

令和2年4月30日付で会員各位に「東京鞆会館売却に伴う東京鞆協会事務所移転について」のお知らせを通達。

令和2年6月18日に臨時総会を開催し、同年8月20日をもって東京鞆会館を西福寺に売却するに至った。

事務所は令和2年11月より台東区柳橋2丁目「ハンドバッグ会館4階」に移転した。

5. 会員の従業員等の福利厚生に寄与する事業

1) 会員、家族、従業員の福利増進のために慰安会

(1) 春の慰安会

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。

6. 関係各機関との連絡及び協調

1) 建議陳情に関する事業

(1) 令和2年度中小企業関係税制改正に関する要望を行政宛に陳情した。

(2) 令和2年度中小企業対策予算の確保に関する要望を行政宛に陳情した。

2) 指導連絡に関する事業

(1) 国、東京都、地方公共団体との連絡と周知を行った。

(2) 皮革産業団体とタイアップを図り活性化に努めた。

(3) ハンドバッグ業界とタイアップを図り活性化に努めた。

(4) 関係友好団体とタイアップを図り活性化に努めた。

(5) 関係機関に対し、要望、陳情を行った。

(6) 異業種との交流と融合化を進めた。

7. 鞆ハンドバッグ コラボ委員会の活動

1) 各特別委員会事業概要

◆呼称標準化事業（標準用語集の販売を継続）

「鞆・ハンドバッグ・小物標準用語集」の販売実績

平成24年6月～令和2年3月まで 4,992冊

令和2年4月～令和3年3月まで 191冊

計 5,183冊

◆技術認定事業

第10回技術認定試験を実施した。

10回目となる鞆・ハンドバッグ・小物紳士・小物婦人の4部門で1級・2級・3級の技術認定試験を行った。

受験申請者は、1級27名、2級32名、3級77名の計136名で昨年より参加人数が減少した。今年度も新型コロナウイルスの感染が収まらず、1都3県については緊急事態宣言が延長されたため、1・2級試験は豊岡地区を除き4月に延期、3級試験は、各地区で実施された。

最終合格者は、1級は鞆部門無し、ハンドバッグ部門1名、小物部門3名の計4名、2級は鞆部門1名、ハンドバッグ部門2名、小物部門12名の計15名、3級は鞆部門36名で、ハンドバッグ部門19名、小物部門15名の計70名となり、8月以降に認定証授与式の予定。

◆エクセレントジャパン展開促進事業

昨年度から引き続き進めている事業だが、新型コロナウイルス感染拡大により各委員会が小委員会やTV会議等での開催となった。

①生産プラットホーム委員会

現状の「技術認定制度（試験）」を国家資格化に向けて技能検定規定の検討や他分野の実施団体への情報収集を行った。

②ICT兼マーケティングプラットホーム委員会

QRコードシステム運用規定を策定し、加盟企業へ「QRコードを利用した情報発信システム」の冊子を配布するとともに名古屋、大阪、豊岡で説明会を開催し、QRコードシステムの利用を促すとともにQRコードシステムの本格運用に着手した。

QRコード情報発信システム説明会

開催日 令和2年10月28日（水） 大阪鞆協会にて

令和2年10月29日（木） 大阪ハンドバッグ協同組合にて

令和3年3月15日（月） 豊岡鞆協会にて

令和3年3月26日（金） 名古屋鞆協会にて（ハンドバッグ合同）

東京地区は2回目の緊急事態宣言延長のため4月以降に延期された。

2) 日本鞆ハンドバッグ協会第10回通常総会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第10回通常総会を書面議決の方法で開催した。

各議案の審議

第1号議案 令和元年度事業報告並びに令和2年度事業計画承認の件

第2号議案 令和元年度決算関係書類承認の件

第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件

第4号議案 その他

8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 会議事項

(1) 総会

① 総会の種類 令和2年度定期総会

② 開催日時 令和2年5月14日(木) 午後3時

③ 開催場所 東京都台東区蔵前4丁目16番3号

「東京鞆会館」

④ 会員総数 94人

⑤ 出席者数 69人 内訳 本人出席 16人

委任状出席 53人

⑥ 議事の経過の要領及び議案別の議決結果

第1号議案 令和元年度事業報告承認の件(原案通り承認)

第2号議案 令和元年度収支決算書報告承認の件(原案通り承認)

第3号議案 令和2年度事業計画決定の件

第4号議案 令和2年度収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法の決定の件

第5号議案 任期満了による役員改選の件

第6号議案 その他

(2) 臨時総会

① 総会の種類 令和2年度臨時総会

② 開催日時 令和2年6月18日(木)

③ 開催場所 東京都台東区蔵前4丁目16番3号

「東京鞆会館」

④ 会員数 94人

⑤ 出席者数 61人 内訳 本人出席 11人

委任状出席 50人

⑥ 議事の経過の要領及び議案別の議決結果

第1号議案 東京鞆会館売却並びに主たる事務所の移転に関して理事会に一任する件

② 東日本鞆工業組合との合同三役会

日 時 令和2年5月8日(金) 午後3時より

- 議 案 1. 役員改選について
2. その他

日 時 令和2年5月14日(木) 午後1時30分より

- 議 案 1. 総会対策について
2. その他

4) 祝賀会事業

受章祝賀会

令和2年4月 春の叙勲 旭日小綬章受章 猪瀬昇一氏

新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら、祝賀会を開催した。

- ・日 時 令和2年10月10日 午後5時開演
- ・会 場 浅草ビューホテル「飛翔の間」

5) アフターサービスに関する事業

かばん類に関する相談等すべてのアフターサービスの運動を展開した。

- (1) 国民生活センター
- (2) 都道府県消費生活センター
- (3) 一般消費者

6) 会員の異動状況

一般社団法人 東京鞆協会

区 分 種 類 別	期首会員数	期中異動		期末会員数
		加 入	脱 退	
小 売 業	11		1	10
卸 売 業	23		1	22
製 造 業	39		2	37
金具・ファスナー部	13		2	11
皮 革・ 染 革 部	6		1	5
ビニール・合成皮革部	2			2
合 計	94		7	87

7) 一般社団法人東京鞆協会の概要

(1) 協会の名称及び住所

一般社団法人 東京鞆協会

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目16番14号 ハンドバッグ会館4F

TEL 03(3862)3511(代)

FAX 03(3862)3520

(2) 会員の資格

かばん類の製造、卸売、小売業及び各種金具類、製革染料、皮革、ビニール合成皮革等原材料の販売を営み法人の目的に賛同して入会した個人または法人。

(3) 会員の地区

東京都

(4) 協会の沿革

- | | | |
|------------------|-------------|--------------------------------------|
| ① 創立総会 | 昭和25年 1月25日 | 東京鞆協会（任意） |
| ② 創立総会
（組織変更） | 昭和42年 8月 1日 | 社団法人東京鞆協会（法人） |
| ③ 設立認可 | 昭和42年 8月18日 | 東京都（民法第34条の規定による） |
| ④ 登 記 | 昭和42年 9月 1日 | 東京法務局 |
| ⑤ 臨時総会 | 平成23年 9月30日 | 公益法人制度改革により一般社団法人への移行承認
東京都への移行申請 |
| ⑥ 移行認可 | 平成24年 3月26日 | 東京都（公益法人制度改革関連3法案に基づく） |
| ⑦ 移行登記 | 平成24年 4月 1日 | 東京法務局 |
| ⑧ 移転登記 | 令和 2年11月 1日 | 主たる事務所移転登記 |

(5) 歴代会長

- | | | |
|-----|------------|-------------------|
| 初 代 | 鈴木 寔（故） | 〈昭和 25.1 ~ 26.12〉 |
| 二 代 | 清水 福太郎（故） | 〈27.1 ~ 28.12〉 |
| 三 代 | 谷 沢 甲 七（故） | 〈29.1 ~ 31.3〉 |
| 四 代 | 太 田 治四郎（故） | 〈31.4 ~ 33.3〉 |
| 五 代 | 渡 辺 定 治（故） | 〈33.4 ~ 35.3〉 |
| 六 代 | 井上 徳太郎（故） | 〈35.4 ~ 37.3〉 |
| 七 代 | 飯 塚 正治郎（故） | 〈37.4 ~ 39.3〉 |

八代	渡辺善次郎 (故)	<39.4 ~ 41.3>
九代	木内貞一郎 (故)	<41.4 ~ 43.3>
十代	吉田吉蔵 (故)	<43.4 ~ 45.3>
十一代 (二期)	大峽幹男 (故)	<45.4 ~ 49.3>
十二代	飯塚正治郎 (故)	<49.4 ~ 51.3>
十三代	若松種夫 (故)	<51.4 ~ 53.3>
十四代	松野茂蔵 (故)	<53.4 ~ 55.3>
十五代	渡辺善次郎 (故)	<55.4 ~ 57.3>
十六代	坂本祐一 (故)	<57.4 ~ 59.3>
十七代	大槌英明 (故)	<59.4 ~ 61.3>
十八代	尾関進	<61.4 ~ 63.3>
十九代	太田敏治	<63.4 ~ 平成 2.3>
二十代	依田弘 (故)	<2.4 ~ 4.3>
二十一代	尾関進	<4.4 ~ 6.3>
二十二代	吉田滋 (故)	<6.4 ~ 8.3>
二十三代	橋本七郎	<8.4 ~ 10.3>
二十四代 (二期)	吉田滋 (故)	<10.4 ~ 14.3>
二十五代 (二期)	安藤敬一	<14.4 ~ 18.3>
二十六代	猪瀬昇一	<18.4 ~ 20.3>
二十七代 (二期)	依田光展	<20.4 ~ 24.3>
二十八代 (二期)	吉田輝幸	<24.4 ~ 28.3>
二十九代	金澤守利	<28.4 ~ 現在>

(6) 会計年度

自4月1日 至3月31日 年1回

(7) 役員の定数

理 事 15人以上 20人以内

監 事 2人以上 3人以内

部 門	会 長	副 会 長	会 計 理 事	理 事	監 事
工 業	1	1		8	
卸 業		2		3	
小 売 業				1	
材 料 業			1		2
合 計	1	3	1	12	2

(8) 任期

理 事 2年 監 事 4年

一般社団法人 東京靴協会 役員

1. 理事・監事

理事・会長	金澤守利	理事	高橋健一
〃・副会長	飯塚貴志	〃	板倉浩
〃	佐藤吉博	〃	畠山勉
〃	依田光展	〃	猪瀬繁晴
〃 会計	川村洋三	〃	金宮秀王
理事	吉田輝幸	〃	澤浦正
〃	新川皓介	〃	梁川裕貴
〃	荻津知宏	〃	中村徳光
〃	片野一徳	監事	池上純平
		〃	肥沼恭子

2. 顧問・参与

顧問	猪瀬昇一	参与	白川善浩
〃	安藤敬一		